

3学期検証

【学校名】

由布市立阿南小学校

<p><b>実態(課題)の把握</b></p> <p>(1)体力調査結果等から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生において、男子は8項目中1種目が平均以下、女子は全て平均以上である。しかし、他の学年の現状を見ると、全学年の男女ともに「立ち幅跳び」「上体起こし」「シャトルラン」の3種目がは平均以下である。</li> <li>・特に「立ち幅跳び」の結果が大きく下回っている。</li> </ul> <p>(2)生活習慣調査等から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女ともに「運動部への所属」の値が高く、運動への興味の高さは覗えるが、ボール運動への偏よりが気になる。</li> </ul> <p>(3)特徴的な様子から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外遊びを好む子と、それほどでもない子の差が大きい。</li> <li>・遊びの「種類・種目」や「メンバー」が偏っている。</li> </ul>	
① 重点 目標	<p>運動を好み、日常的に運動に取り組む子どもの育成</p>
② 達成 指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動が、「楽しい・やや楽しい」と感じる児童の割合を、90%以上にする。</li> <li>・「ほとんど毎日運動する」児童の割合を、100%に近づける。</li> </ul>
③ 重点 的 取 組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な運動の基礎感覚が身に付くよう、サーキット・トレーニングを全学年統一して行う。</li> <li>・児童会と連携して、縦割り班で体を動かす活動を行う。</li> <li>・家庭に啓発活動を行う。</li> </ul>
④ 取 組 指 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育授業の始めにサーキット・トレーニングに取り組みせる。</li> <li>・特別活動主任と体育主任とが連携し、日常の遊びに取り入れられるような児童会活動を学期に1回以上行う。</li> <li>・学校・学級通信等で、子どもの活動状況や家庭でもできるトレーニングを紹介する。</li> </ul>
<p><b>プランの検証と改善(検証頻度と検証方法)</b></p> <p>ア、学期ごとに行う学校自己評価アンケートの中で体育アンケートを実施する。</p> <p>イ、児童会活動の振り返りを学年ごとに行い、集約する。</p> <p>ウ、アとイを総合的に分析し、見い出された改善点や留意点を次学期につなげる。</p> <p>エ、ウの内容を必要に応じて、学校・学級通信や児童会新聞を活用して児童と保護者に伝え、意識を高める。</p>	

【一校一実践タイトル名と取組内容の概要】

タイトル名	<p><b>運動大好き「阿南っ子」</b></p>
<p>運動が好きになる要因の一つに、「運動ができる」ようになることがあげられる。そのためには、運動の基礎感覚やコーディネーション能力を身につける必要がある。そこで、サーキット・トレーニングを年間を通じて行うようにする。その中で、特に阿南小の子どもに着けさせたい力である「リズム感覚(能力)」、「連結能力」が養われるトレーニングを重点的に取り入れる。</p>	

「運動することが楽しいですか」	→	88%
「休み時間に外で運動していますか」	→	80%